

千葉県 DX 推進協議会  
令和 7 年度通常総会

資 料

令和 7 年 6 月 2 7 日 (金)

千葉県 D X 推進協議会

## 目 次

### 議 事

議案 1	役員を選任の承認について	1
議案 2	令和 6 年度事業報告の承認について	2
議案 3	令和 6 年度収支決算の承認について	11
議案 4	令和 7 年度事業計画の決定について	14
議案 5	令和 7 年度収支予算の決定について	16

### 報 告

報告 1	幹事の委嘱について	17
報告 2	会員の入退会について	18
報告 3	部会活動について	19
	①DX リテラシ向上対策部会	
	②市民共創推進部会	

## 議案1 役員の選任の承認について

役員任期（2年）が満了したことなどから、協議会規約第5条第2項の規定により、次のとおり役員を選任することについて承認を求める。

### 令和7年度役員

区分	旧役員		新役員（案）		備考
	氏名	団体・職名	氏名	団体・職名	
会長	木村 文和	千葉県総務部デジタル改革推進局長	牧野 好二	千葉県総務部デジタル改革推進局長	人事異動に伴う交代
副会長	今泉 貴史	千葉大学情報戦略機構長	今泉 貴史	千葉大学情報戦略機構長	留任
〃	勝 直人	千葉県総務部次長 (デジタル改革推進局)	小坂 陽一	千葉県総務部次長 (デジタル改革推進局)	人事異動に伴う交代
〃	木内 雅巳	多古町企画政策課課長	井上 政貴	芝山町総務課 課長	任期満了に伴う交代
〃	宮城 和彦	(公社)千葉県情報サービス産業協会会長	宮城 和彦	(公社)千葉県情報サービス産業協会 会長	留任
監事	多田 晴美	袖ヶ浦市行政管理課課長	大須賀 隆之	千葉市業務改革推進課 課長	任期満了に伴う交代
〃	高橋 吉造	勝浦市情報政策課課長	黒川 康裕	八街市企画政策課 課長	任期満了に伴う交代

## 議案2 令和6年度事業報告の承認について

令和6年度事業報告について、次のとおり承認を求める。

### 千葉県DX推進協議会 令和6年度事業報告

#### 1 総会等の開催

##### (1) 通常総会

- ・日 時 令和6年7月29日(月)
- ・場 所 プラザ菜の花 4階「楨」及びオンライン
- ・議案 議案1 令和5年度事業報告の承認について  
議案2 令和5年度収支決算の承認について  
議案3 令和6年度事業計画の決定について  
議案4 令和6年度収支予算の決定について
- ・報告 報告1 役員の異動及び幹事の委嘱について  
報告2 会員の入退会について  
報告3 部会活動について

##### (2) 幹事会

###### ① 第1回

- ・日 時 令和6年6月25日(火)
- ・場 所 書面開催
- ・議 題 総会に付すべき議案について  
部会の設置について  
会員の入退会について

###### ② 第2回

- ・日 時 令和7年1月31日(金)
- ・場 所 書面開催
- ・議 題 第14回「千葉県内大学による卒業論文発表会」の後援について

## 2 部会活動

### (1) DXリテラシ向上対策部会

- ・ 設 置：平成 25 年 5 月 27 日  
(令和 6 年度の活動企画書承認 令和 6 年 7 月 29 日)
- ・ 代表者：特定非営利活動法人 ITCちば経営応援隊
- ・ 参加者：千葉商科大学、市原市、印西市
- ・ 目 的：DXを推進することで、県民の暮らしを豊かにし、子どもからお年寄りまで一人ひとりが活躍できる社会の実現に寄与する。そのためにはDXリテラシの向上が不可欠である。当部会では、住民との接点の多い自治体職員、学校の教職員のDXリテラシ向上と業務効率化を目指し、DXリテラシ向上策の検討・実証研究を実施している。

当部会は、これまでキャッシュレス化、マイナポータル・マイナンバーカードの活用、窓口業務の変革など、総務省「自治体DX推進計画」の重点取組み事項である「行政手続きのオンライン化」について、検討部会・共同研究会を定期開催し、事例研究・意見交換・ディスカッションを行ってきた。

令和6年度は、2024年7月12日にデジタル庁より更新公表された「自治体DXの取組に関するダッシュボード」で千葉県内市町村のRPA導入が27.8%と、手元パソコン作業の効率化には外せないRPAの利用が進んでいない点に着目し、改めて「RPAの活用」について見直すこととした。

コロナの影響でオンライン開催が続いていたが、現地開催で課題検討や意見交換の活性化にも取り組むことにした。ツール活用という点では、代表的なRPAツールについて、同一課題でデモして頂くことで比較検討をしやすくする試みも行った。単なる事例紹介にならないように、各自治体の状況に応じた進め方や工夫をディスカッションすることで、DXリテラシ向上策や業務効率化策の検討が進むようにした。

- ・ 活動報告
  1. 自治体DXとして「RPA利活用による業務効率化」に関する共同研究会を下記3回、実施した。
    - ① 令和6年度第1回共同研究会  
日時：令和6年10月29日（火）14時30分～16時  
場所：千葉県庁南庁舎2階会議室およびZoomによるハイブリッド開催  
目次：第1部 RPA活用の現状  
～デジタル庁「自治体DXの取組に関するダッシュボード」より～  
第2部 RPA利活用の進め方と留意事項（基本の再確認）  
講師：株式会社ナレッジシェア（KnowledgeShare）  
代表取締役 徳永雅彦 様  
第3部 RPAツール事情  
参加者：27自治体・4団体、56名（うち講師・運営側 8名）

② 令和6年度第2回共同研究会

日時：令和6年12月18日（水）14時半～16時

場所：ZOOMによるオンライン開催

目次：第1部 BizRobo!の事例紹介

講師：株式会社大崎コンピュータエンジニアリング

事業推進統括部 NB推進室 室長 森雄介 様

第2部 ドコモビジネスが提供するWinActorの事例紹介

講師：株式会社ドコモビジネスソリューションズ

ソリューション営業部 千葉支店 地域協創担当 松尾恭兵 様

第3部 UiPathの事例紹介

講師：NECソリューションイノベータ株式会社

ソリューションサービス事業ライン ビジネス基盤事業部

主任 板倉寛征 様

参加者：22自治体・5団体、49名（うち講師・運営側 9名）

③ 令和6年度第3回共同研究会

日時：令和7年3月11日（火）15時～16時30分

場所：ZOOMによるオンライン開催

目次：第1部 小規模自治体におけるRPAの活用と課題

講師：愛知県 阿久比町役場 検査財政課 情報係 杉浦広和 様

第2部 千葉市におけるAI-OCR、RPAの取組み

講師：千葉市 総務局 情報経営部 業務改革推進課 情報化推進班

主査 木村敢 様

第3部 RPAを活用した庁内業務の改善

講師：千葉県 総務部 デジタル改革推進局 デジタル推進課

デジタル化支援室 主査 横山直史 様

参加者：20自治体・4団体、37名（うち講師・運営側 9名）

【自己評価】

今年度は、「RPA利活用による業務効率化」と自治体の業務効率化策に焦点を絞った研究を進めた。最先端ではないが、1つのIT技術に特化した研究というのも面白い取り組みであったと評価している。

第1回共同研究会は、県庁会議室をお借りしRPA利活用の基本的な進め方や考慮事項を再整理し、課題対応の意見交換が出来た。第2回共同研究会では、ツールベンダー様にご協力頂き、代表的な3つのRPAツールの機能や操作性を同一課題でデモ頂き、比較検討を行った。

若干詰め込みすぎて時間不足・消化不足なところがあったが、特徴が良く理解できたのではないかと考えている。そして、第3回共同研究会では、他県の

小規模自治体様にも協力頂き、各自治体の状況に応じた導入方法や運用時の工夫を事例紹介し、より身近な取り組み方が参考になったと考えている。

3回の共同研究会には、35自治体6団体・延べ142名の方に参加頂きました。(昨年度は38自治体4団体、延べ113名) 参加自治体数・参加者数はここ2～3年同じ傾向である。

共同研究会の運営については、先進事例の紹介、他自治体との情報共有が有効との意見が多く、より深く理解・検討するためにグループ研究や実証研究を期待する声もあり、来年度の活動ではグループ研究に取り組んでみたい。

2. DXリテラシ向上のための情報共有・情報発信として、DXリテラシ向上対策部会通信を計5回発行した。

配信先：DX推進協議会メンバーおよび県内各市町村

発行実績：

①Vol. 11 (令和6年9月2日発行)

- ・令和6年度活動計画
- ・EBPM (証拠に基づく政策立案) (概要)

②Vol. 12 (令和6年10月7日発行)

- ・EBPM (第1回)
- ・セキュリティ事故解説 (10大脅威、ランサムウェア)
- ・自治体におけるAI応答システム (第1回)

③Vol. 13 (令和6年11月18日発行)

- ・第1回共同研究会活動報告
- ・EBPM (第2回)
- ・セキュリティ事故解説 (10大脅威、サプライチェーン攻撃)
- ・自治体におけるAI応答システム (第2回)

④Vol. 14 (令和7年1月24日発行)

- ・第2回共同研究会活動報告
- ・EBPM (第3回)
- ・セキュリティ事故解説 (10大脅威、情報漏洩)
- ・自治体におけるAI応答システム (第3回、最終回)

⑤Vol. 15 (令和7年3月25日発行)

- ・第3回共同研究会活動報告
- ・EBPM (第4回、最終回)
- ・セキュリティ事故解説 (10大脅威、内部不正)
- ・令和6年度活動総括
- ・令和7年度活動方針 (案)

【自己評価】

DX リテラシ向上対策部会の活動の柱である共同研究会の成果と次回予定を伝え、千葉県全体で共有できるようにするとともに、行政サービス検討時の検討手法である EBPM、セキュリティ 10 大脅威の解説、そして生成 AI が関連してくる AI 応答システムと、複数の切り口での情報提供が出来た。

今年度実施したアンケートで、購読頂いていることが確認でき、最新の技術動向やセキュリティ対策に関する記事、他自治体の事例紹介を期待されていることが把握できました。このような情報発信は地道に継続すべきであり、もっと活用していくべきと評価しています。

### 3. 部会開催実績

#### ①令和 6 年度キックオフ部会

日時：令和 6 年 7 月 24 日 15 時～16 時

場所：ZOOM による Web 会議

参加者：8 名

(千葉県 1、千葉商科大学 1、市原市 1、印西市 1、部会事務局 4)

議題：◆ 活動の流れと役割分担

◆ 共同研究会テーマ検討

◆ 活動日程

→今年度より印西市様に検討部会に参加頂くこととなった。総会前の開催で今年度の検討テーマについて検討したが、継続検討となった。

#### ②令和 6 年度第 2 回部会

日時：令和 6 年 8 月 13 日 15 時～16 時

場所：ZOOM による Web 会議

参加者：8 名 (千葉商科大学 1、市原市 1、印西市 1、部会事務局 4)

議題：◆ R6 年度検討テーマ検討

◆ 第 1 回共同研究会の日程

→AI、RPA に絞ったうえで、標準システムへの移行を抱える中で、その後の隙間を埋めるツールとして役立つ RPA について、見直すこととした。3 回の共同研究会の構成を組み立て、第 1 回を現地開催とし日程も決定した。

#### ③令和 6 年度第 3 回部会

日時：令和 6 年 9 月 26 日 15 時～16 時

場所：ZOOM による Web 会議

参加者：8 名 (千葉県 1、千葉商科大学 1、市原市 1、印西市 1、部会事務局 4)

議題：◆ R6 年度の共同研究会構成確認

◆ 10/29 第 1 回共同研究会の開催方法

◆ 第 1 回共同研究会の構成検討

◆ 第 2 回共同研究会の内容検討

→第1回共同研究会を現地開催での進め方をすり合わせた。第2回共同研究会で対象ツールと共通で取り上げる適用シーンについて検討した。この結果でベンダーへ依頼した。

#### ④令和6年度第4回部会

日時：令和6年11月12日16時～17時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：8名（千葉県1、千葉商科大学1、印西市1、部会事務局4）

議題：◆ 第1回共同研究会の振り返り

◆ 第2回共同研究会の段取り確認

◆ 第3回共同研究会の準備

→第1回共同研究会事後アンケート結果で参加者の課題を確認し、第2回共同研究会での説明項目を追加しベンダーへ依頼した。第3回で事例紹介頂く自治体候補について検討した。その後、講演依頼調整に入った。

#### ⑤令和6年度第5回部会

日時：令和7年1月14日15時～16時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：6名

（千葉県1、千葉商科大学1、市原市1、印西市1、部会事務局4）

議題：◆ 第2回共同研究会の振り返り

◆ 第3回共同研究会の段取り確認

◆ R7年度活動方針検討

→第2回共同研究会の内容詰め込みすぎで時間不足・理解不足となったことを反省。第3回共同研究会の講演者調整完了し、講演ポイントを確認した。来年度の取り組み方について意見交換した。

#### ⑥令和6年度第6回部会

日時：令和7年3月18日15時～16時

場所：ZOOMによるWeb会議

参加者：6名（千葉県1、千葉商科大学1、市原市1、部会事務局4）

議題：◆ 第3回共同研究会の振り返り

◆ R6年度振り返り

◆ R7年度活動方針検討

→第3回共同研究会の内容は時間配分含め良好との評価。ただし、来年度は自治体の業務効率化検討ではなく、最新技術の実用化研究を産学官連携のワーキング形式で取り組むことを活動方針とした。希望者を中心にテーマと進め方を検討していくこととした。

## (2) 市民共創推進部会

- ・ 設 置 平成31年1月21日（令和5年7月改称）
- ・ 代表者 Code for NAGAREYAMA
- ・ 参加者 シビックテックもばら、Team URA-CIMA、Code for INZAI  
Code for Kashiwa 他
- ・ 目 的 市民共創推進部会は、県全体でのDXの取組を活性化することを目的とし多様な主体を巻き込むイベントの開催や、メリットが感じられるデジタル化の事例共有などを通してDX化を県内全域に取組を広げ、地域課題の解決を促進する。

### ・活動報告

#### 1. 開催実績と成果

- ・ 県内のデータ利活用を支援する体制づくり（6月～3月）
  - ・ UDC (Urban Data Challenge) の千葉拠点として、地域課題に取り組むプレイヤーの掘り起こし
  - ・ UDC 紹介動画の作成公開 <https://youtu.be/yB-ZMebP5WU>
  - ・ 船橋市オープンデータアイデアソンの開催（11/28）  
<https://20241128fod.peatix.com/>
- ・ 千葉県オープンデータアイデアソンを通じたネットワーキング（5月～11月）
  - ・ アイデアソンのサポート（8月）、アイデアソン参加者への個別メンタリング
  - ・ 船橋市オープンデータアイデアソンイベント（11/28開催）の周知（参加者50名）  
<https://20241128fod.peatix.com/>
- ・ Code for Japan SUMMIT 2024 参加（11月16日）@滋賀県草津市  
全国のDX、シビックテック団体が集まるイベントにおいて、全国のプレイヤーと交流し、千葉県のDXの取組について共有を行った。  
<https://summit2024.code4japan.org/>
- ・ デジガバ読経会 2025（YouTube 配信）  
DX・デジタルガバメントに関わる最新のトピックス（都市経営、地域幸福度指標）について有識者からオンラインでの事例紹介を行った。（3件+ご案内1件公開）
  - ① 外部デジタル人材活用の活用について  
<https://youtu.be/650CehMiKgk>
  - ② 地域幸福度指標の使い方～千葉市の事例から  
<https://youtu.be/cNWDeDn4rEE>
  - ③ DXリテラシー標準を読み解き、活用する  
<https://youtu.be/HAFakiFx6XE>
  - ④ （ご案内）デジガバ読経会 2025 について  
<https://youtu.be/mNcFJCami8I>

- ・ Open Data Day 2025 in Chiba (3月1日) @船橋市勤労市民センター  
「もちアゲようぜ市民のチカラ」と題して、今後起こりうる「複合危機」に備えるため、おもちのように粘り強い官民連携のもと、千葉県民の市民力をアゲていくことを目指し、県内各シビックテック団体の取組紹介を行った。[自治体・企業・大学生・市民団体の連携、18名参加]  
<https://odd2025chiba.peatix.com/>

## 2. 課題と次年度への取り組み

本年度は、従来の「デジガバ読経会」「Open Data Day(ODD)」に加え、新たに①UDC 地域拠点としての参加、②千葉県オープンデータアイデアソンへの協力、が新たに加わった。特にチャレンジ・コンテストに応募する方の掘り起こし・広報、および申請に向けた支援体制づくりやフォローアップにかなり工数を割くこととなった。結果として応募者の擁立は進んだが、市民を巻き込むイベントの企画開催のみならず、様々なタスクが広がり、協力者の獲得が喫緊の課題である。

次年度の取組としては、本年度の活動内容を見直し、地域課題の解像度を高めるため「市民共創推進」により焦点を置く。県下の自治体や企業、大学等の関係者との連携を促す活動に注力する。特に、千葉県主催のアイデアソンやUDC、OGC等への作品提出という出口を見据え、これまで取り組んできた活動のフレーム、イベントの機会を活かしながら、多様な関係者の参加を引き続き促していく。

## 3 講演会の開催等

### (1)「DXセミナー」

日 時 令和6年7月29日(月) 午後1時30分～

場 所 プラザ菜の花 4階「楨」及びオンライン

参加人数 約60人

内 容

テーマ：「デジタルサービスの活用促進について」

- 選ばれる都市を目指して ～DX推進によるさいたま市の展望～

講師：さいたま市都市戦略本部デジタル改革推進部 デジタル改革担当  
主査 小山内 涼 氏

- デジタルサービスの活用促進について

講師：千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課  
デジタル戦略班長 花澤 祥平

### (2)「自治体DX推進に係る提案会」

日 時 令和6年11月6日(水) 13時10分～16時40分

場 所 プラザ菜の花 4階「楨」及びオンライン

参加団体 30団体（行政18団体、ベンダー7社、大学・NPO等 5団体）  
内 容 市町村より20件の課題提出があり、それに対してベンダー4社、大学、NPOから、延べ13件の提案があった。

①株式会社広域高速ネット二九六

・有害鳥獣対策 ・少子高齢化による後継者不足

②株式会社日立製作所

・少子高齢化による後継者不足 ・地元企業、商工会の活性化

③富士通 Japan 株式会社

・シビックプライドの醸成 ・介護認定に係る事務のデジタル化

④エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

・地域子育て支援拠点のデジタル化 ・電話対応（総合窓口部署）  
・郵送物の封入漏れ

⑤シビックテック・ウラシマ

・シビックプライドの醸成 ・少子化対策  
・デジタル・デバイドへの対応

⑥千葉大学

・医療の充実

### （3）ちばDXフォーラム

日 時 令和7年2月7日（金）午後2時30分～

場 所 千葉市文化センター5階

参加人数 62人

内 容 「自治体における生成AIの利活用について」

講師：日本マイクロソフト株式会社 パブリックセクター事業本部  
公共・社会基盤統括本部 自治体戦略本部 本部長  
桐戸 優作 氏

「デジタル時代の人材とその育成について」

講師：総務省地域情報化アドバイザー  
（株）デジタル人材開発サポート 代表取締役 高村 弘史 氏

## 4 協議会ホームページの運営

会員情報、イベント・セミナー等について適宜更新。セキュリティ向上のためhttps化を実施。

## 5 参考資料の収集と配付

随時、イベントの案内等を送付。

議案3 令和6年度収支決算の承認について  
 令和6年度収支決算について、次のとおり承認を求める。

千葉県DX推進協議会  
 令和6年度収支決算書

(収入の部)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(B-A)	摘要
	円	円	円	
負担金	567,000	567,000	0	県 18,000円 市町村・企業 9,000円×61 計62団体
雑収入	25,004	18,393	△ 6,611	情報通信月間行事援助金・預金利息
前期繰越金	423,088	423,088	0	
合計	1,015,092	1,008,481	△ 6,611	

(支出の部)

科目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A-B)	摘要
	円	円	円	
会議費	268,800	177,255	91,545	ちばDXセミナー、自治体DX推進に係る提案会 会場使用料 ちばDXフォーラムの開催に係る費用負担
講演関係費	98,000	0	98,000	
事務局費	262,986	224,334	38,652	協議会Webサーバ・システム利用料、https化、振込 手数料等
企画活動費	377,042	300,066	76,976	部会助成費(2部会)
予備費	8,264	0	8,264	
合計	1,015,092	701,655	313,437	

収入総額 1,008,481

支出総額 701,655

(差引) 次期繰越金 306,826

# 監 査 報 告 書

規約第6条第3項の規定により、令和6年度会計について監査をいたしました。

その結果については、適正なものと認めます。

令和7年 4月 21日

千葉県 DX 推進協議会

監 事

勝浦市 情報政策課長

高橋 吉造

# 監 査 報 告 書

規約第6条第3項の規定により、令和6年度会計について監査をいたしました。

その結果については、適正なものと認めます。

令和7年 4月 23日

千葉県DX推進協議会

監 事

袖ヶ浦市 行政管理課長

夕田 晴美

## 議案 4 令和 7 年度事業計画の決定について

令和 7 年度事業計画について、次のとおり決定を求める。

### 令和 7 年度事業計画

本県の産・学・官・民が協力連携し、DXを推進することにより、個性豊かで活力に満ちた地域社会の実現及び住民福祉の向上に寄与することを目的として、以下の事業を行う。

#### 1 総会等の開催

- (1) 通常総会
  - ・ 役員を選任の承認
  - ・ 令和 6 年度事業報告・決算の承認
  - ・ 令和 7 年度事業計画・予算案の決定
- (2) 幹事会
  - ・ 協議会の業務の運営に関する事項の企画
  - ・ 部会の設置 等

#### 2 部会活動

- (1) 既存部会の活動支援
- (2) 新規部会の立ち上げ支援

#### 3 講演会等の開催

- (1) 自治体DX推進に係る提案会（令和 7 年 6 月 27 日（金））
- (2) 「ちばDXセミナー」の開催（令和 8 年 2 月 6 日（金））予定  
（（公社）千葉県情報サービス産業協会と共催）

#### 4 企画・活動事業

- (1) DX推進に必要な調査研究事業
- (2) その他協議会の目的を達成するための事業

#### 5 協議会ホームページの運営

#### 6 その他

会員の参考となる関係資料の収集と配付（随時）

## 令和7年度年間活動計画(案)

NO	事業名称	概要等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	総会	役員の選任の承認 令和6年度事業報告・収支決算の承認 令和7年度事業計画・収支予算の決定			通常総会 ↔	←			必要に応じて臨時総会の開催					
2	幹事会	協議会の業務の運営に関する事項の企画・立案 部会の設置、入会の承認 等		幹事会(書面開催) ↔	←				必要に応じて幹事会の開催(メール審議も活用)					
3	部会	①DXリテラシ向上対策部会 ②市民共創推進部会  各部会への支援(新規設置・活動支援等)			←				部会、イベント等の開催					
									各部会への参加・運営支援、新たな部会の設置					
4	講演会等の開催	自治体DXに係る提案会 ちばDXセミナー			提案会開催 ↔								セミナー開催 ↔	
5	企画・活動事業	DX推進に必要な調査研究事業	←						情報収集(随時)、必要に応じて視察等の実施					
6	協議会ホームページの運営	イベント・セミナー等に合わせて適宜更新	←						HP更新(随時)					
7	その他	国、関係機関からの情報収集及び提供	←						総務省等からのお知らせ、IT関連団体等のイベントの案内(随					

## 議案5 令和7年度収支予算の決定について

令和7年度収支予算について、次のとおり決定を求める。

### 令和7年度収支予算(案)

#### 【収入の部】

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘 要
	円	円	円	
負担金	558,000	567,000	△ 9,000	県18,000円、 市町村9,000円×38 民間企業9,000円×22
雑収入	34,300	25,004	9,296	情報通信月間行事援助金・預金利息
前期繰越金	306,826	423,088	△ 116,262	
合計	899,126	1,015,092	△ 115,966	

#### 【支出の部】

科目	予算額	前年度 予算額	増減	摘 要
	円	円	円	
会議費	220,000	268,800	△ 48,800	会場等利用費 等
講演関係費	77,000	98,000	△ 21,000	外部講師謝礼、交通経費 等
事務局費	260,000	262,986	△ 2,986	協議会Webサーバ・システム利用料、振込手数料、郵送費 等
企画活動費	340,000	377,042	△ 37,042	部会活動助成費(2部会)
雑費・予備費	2,126	8,264	△ 6,138	
合計	899,126	1,015,092	△ 115,966	

## 報告1 幹事の委嘱について

令和7年度幹事一覧

役職	所属	職	氏名
幹事長	千葉県総務部デジタル改革推進局デジタル戦略課	課長	山本 多美子
幹事	匝瑳市企画課	課長	江波戸 英樹
幹事	茂原市総合企画部	次長	飯島 博美
幹事	市原市情報政策課	課長	中田 直樹
幹事	我孫子市デジタル戦略課	課長	並内 秀樹
幹事	佐倉市情報システム課	課長	香取 泰幸
幹事	芝山町総務課	課長	井上 政貴
幹事	鋸南町総務企画課	課長	吉田 修一
幹事	公益社団法人千葉県情報サービス産業協会	事業企画部会部会長 (理事)	荒川 典彦
幹事	城西国際大学メディア学部大学院ビジネスデザイン 研究科	図書館長・美術館長	袁 福之
幹事	千葉大学情報戦略機構	准教授	小室 信喜
幹事	富士通Japan株式会社 千葉・茨城公共ビジネス部	シニアマネージャー	岩城 信行
幹事	東日本電信電話株式会社 千葉支店 第二ビジネスイノベーション部 第一地域基盤ビジネスグループ	担当課長	谷本 有紀
幹事	協同組合シー・ソフトウェア	代表理事	谷尾 薫

## 報告2 会員の入退会について

### <入会>

	団体名
1	Civic Tech Zen Chiba

(参考)

### <退会>

	団体名
1	KDDI株式会社
2	東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授 斎藤 馨
3	千葉工業大学 社会システム科学部 金融・経営リスク科学科 教授 森 雅俊